

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道 矢野安浦線 道路改良事業に伴う測量設計業務委託（熊野バイパス2工区）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	R4-Bor. No. 3	調査位置	広島県安芸郡熊野町	北緯	34° 19' 58.3060"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年10月11日～ 令和4年10月13日	東経	132° 35' 09.6170"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア		鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 225.61m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	12.00m	度	0°	向	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	東邦D-0	エンジン	ヤンマー-NFD-10	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	採取方法	室内試験	削孔月日		
											深度 (m)	N 値	100mm毎の打撃回数 (0, 100, 200)	打撃ごとの貫入量 (mm)	50回の貫入量 (mm)							
	224.71	0.90	シルト質砂	暗褐 灰褐					細砂主体。細粒分を20~30%含む。表層は有機物を多く含む。	10/12 0.90	1.15	3	6	3	12	300						
	224.01	1.60	雑混じり砂	褐灰 rd3					中砂主体。φ2~10mmの礫を10~20%含む。改良土で固結している。		1.45						P3-1	⊖	比重含水			
	223.11	2.50	シルト質砂	褐灰 rd1					細砂主体。細粒分を20~30%含む。		2.15	1	1	1	3	300						
	222.61	3.00	シルト質砂	暗灰					細砂主体。細粒分を40~50%含む。有機物を多く含む。部分的に細粒分優勢な箇所あり。		2.45	2	2	2	6	300						
	220.61	5.00	砂	淡灰褐 rd2					粒径均質な砂層。全体に細粒分を混入する。部分的に細粒分を多く含む。		3.45	2	5	5	12	300						
			風化花崗岩	淡黄褐 rd3					粗粒花崗岩。組織は明確であるが、風化著しく指圧で容易に砂状となる。DL~DM級。		4.45	2	5	5	12	300						
	217.01	8.60	花崗岩	淡褐灰 rd5					指圧で雑まじり砂状となる。深度方向に硬質となる。DH~DM級。軟岩I。		5.15	3	4	5	12	300						
	213.61	12.00									6.15	5	5	6	16	300						
											6.45											
											7.15	6	6	7	19	300						
											7.45											
											8.15	7	9	11	27	300						
											8.45											
											9.15	18	32		50	200						
											9.35											
											10.15	33	17		50	130						
											10.28		30									
											11.10	50			50	80						
											11.18	80			80							
											12.10	50			50	70						
											12.17	70			70							